

やまこし

## 山古志「花々とともに進む心の復興」



高齢者も大勢参加の帰村後の花いっぱい活動



崩落して復旧された山肌のたもとを花々で色づけ



災害復旧トンネルの掘削土を苦労して土壤改良



子供からお年寄りまで心をひとつにして花植えの完了



仮設住宅地での花いっぱい活動の始まり 合言葉『花でつなげる 心のつながり』

山古志村（現新潟県長岡市）は、平成16年10月23日の未曾有の中越大震災により、棚田、棚池、山並みをはじめとした美しい景観や、生活の糧となる道路など多くの大切なものを一瞬のうちに失いました。

大地震により全村避難を余儀なくされた山古志住民の当初の落胆と心の痛手は、想像を絶するものでありました。

避難先の仮設住宅地には、全国各地からたくさんの花苗やプランターが贈られてきました。

花々の世話をするうちに、深く傷ついた心を癒し、生きる元気と活力を与え、コミュニケーションの場づくりとなるなど、花が持つ力に気づかされました。そして、住民有志により「山古志花を楽しむ会」が立ち上がりました。

平成17年には、復旧が進んだところから順次帰村が始まりましたが、住み慣れたふるさとに戻ってもまだまだ住民の心は晴れることはありませんでした。そこで、被災地山古志の地においても、仮設住宅地と帰村した住民をつなぐ新たな花いっぱい活動が、『花でつなげる 心のつながり』を合言葉に始まりました。

全14集落に及ぶ道路沿線や空き地などに植栽するには、土壌づくりや水やりなどの管理作業はとても大変です。しかし、春・秋2回の植栽を行い、総勢500名の老若男女が参加する花いっぱいの取組は、「心の復興」の着実な進展に大きく貢献しています。

山古志の自然景観はだんだんと災害前の美しい状態を取り戻しつつあり、訪れる年間2万人を超える人たちを花々がやさしく迎えています。

## ■所在地

新潟県長岡市（旧山古志村）

## ■活動内容

- ・毎年春に集落ごとに集落内及び道路沿線に植栽
- ・集落単位で季節毎に植え替えを実施
- ・花の維持管理は、花の種類に合わせ住民同士の互いの声かけにより随時実施

## ■活動主体名

山古志花を楽しむ会

## ■応募者又は推薦者・担当部局名・連絡先等

山古志花を楽しむ会

電話番号：0258-59-2301

